

令和２年度第１回白井市立図書館協議会（概要）

- 1 開催日時 令和２年７月３０日（木）１５：００～１６：４０
- 2 開催場所 白井市立図書館２階 研修室２
- 3 出席者 委員 中野会長、北原副会長、遠藤委員、中嶋委員、佐藤委員、志摩委員
事務局 石田文化センター長、高花主幹、鎌田館長、内山副主幹、藤田副主幹
- 4 傍聴者 なし
- 5 事務局あいさつ
- 6 委員あいさつ
- 7 会長あいさつ
- 8 報告事項
 - (1) 平成３１年度図書館事業実績について（書面にて事前報告）
 - (2) 令和２年度図書館事業計画について（書面にて事前報告）
 - (3) 白井市教育振興基本計画の策定（案）について（書面にて事前報告）
 - (4) 白井市立図書館新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン
 - (5) 白井市立図書館における新型コロナウイルス感染症対策のこれまでの経緯
- 9 協議事項
 - (1) 今後の対応について
 - (2) 迷惑行為について
- 10 その他
- 11 配布資料
 - (1) 会議次第
 - (2) 会議資料
 - (3) 文化センターだより（図書館分）７．８月号
- 12 議 事 以下のとおり

会長	東京のみならず全国的に新型コロナウイルスの感染者が増えており、心配な状況の中、お集りいただきありがとうございます。白井市の会議のガイドラインに沿って開催されているとのこと。今後の図書館の協議をお願いします。
事務局	報告事項(1)平成３１年度図書館事業実績について（書面にて事前報告） (2)令和２年度図書館事業計画について（書面にて事前報告） (3)白井市教育振興基本計画の策定（案）について（書面にて事前報告）
委員	(1)平成３１年度図書館事業実績について、資料のP15。 学校別貸出統計について伺いたい。平成２８年を境に貸出数が極端に減っている理由はなにか。学校の教育方針が変更になったのか。
事務局	平成２８年度までは、小学校へ朝読書用の「読み物おすすめセット」を学期毎に入れ替えて貸出していた。読書教育推進補助教員が各学

	校図書館に配置されたため、２８年度末に市立図書館の資料を各小学校へ移管した。平成２９年度から「読み物おすすめセット」の貸出は行っていないので、貸出冊数が減少している。中学校については、担当教諭の判断で、図書館の資料を使った授業展開が少なかったのではないかとと思われる。
委員	(１) 資料 P7、平成３１年度主要事業報告の障がい者欄について伺いたい。「音訳協力者による、希望者なし」とは、音訳希望者がいないということか。
館長	音訳協力者はいるが、協力者による音訳した資料を希望する人はいなかったということである。
委員	(１) 資料 P1、平成３１年度図書館資料事業実績報告について伺いたい。「～レファレンスが６件にとどまった」とあるが、件数の目標などがあったのか。
館長	簡易な資料案内は年間約４千件あるが、図書館資料を使い、典拠を確実に確かめる調べもの対応で、かつ、国立国会図書館のレファレンス協同データベースに登録した事例が６件であった、ということである。データベースは全国の図書館が事例を登録しており、似た内容のものについては、白井では登録していない。
委員	確実に調査した内容が６件であれば、「６件あった」でよいのではないか。
館長	例年であれば、会議までに年報『しろいの図書館』をご用意しているが、発行が遅れている。最終稿に間に合うので、修正する。給付金対応で職員１名が市役所に従事していることなどから、業務全般に減員の影響がでている。
事務局	報告事項(4) 白井市立図書館新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインについて
会長	図書館の入館受付票は入り口にあったのか。気が付かなかった。図書館では積極的に受け付けをしていないのか。
館長	文化センター全体は不特定多数の来館者があるため、入館者の受け付けをするという方針となったため、「入館者受付票」を用意した。図書館は日本図書館協会のガイドラインを基本としており、図書館協会では積極的な記入は求めている。

	いない。 2階の学習室の利用は滞在型になるので、机の配置は対面ではなく、同じ方向を向いて座る形式にしている。入館受付票を入口近くに置いてあり、提出される利用者は想定していたより多い。1階は提出される利用者は、少ない状況である。
会長	図書館としても必ずしも（受付票を）集めたい、ということではないのか。図書館という施設は濃厚接触者になるとは思われないが、図書館として記入して欲しいと考えるのなら、もう少しわかりやすい場所に置き、記入は任意ですと案内すればよいのではないか。
委員	目立つ場所に置くことと、強制的に書いてもらう、というのは別のことだと思う。書く気であるのに、どこにあるのか分からない、ではなく、わかりやすい場所に置いて、記入は任意というのがよいのではないか。
会長	入館受付票は、あってもなくてもクレームがあると思う。わかりやすい場所への配置をお願いしたい。
事務局	報告事項(5) 白井市立図書館における新型コロナウイルス感染症対策のこれまでの経緯について
館長	協議事項(1) 今後の対応について
センター長	今皆様の机上有るアクリル板の設置と、現在、カウンターに下がっている農業用ビニールを、耐火性のあるものに8月3日から順次変更し、対策を強化していくので、その点も考慮してご意見をいただきたい。
会長	滞在時間について皆さんはどのように感じるのか
館長	消毒時間を設けて一斉に退出を促す館の事例は、聞いた限りでは県内にはないようだ。
委員	滞在60分とは明記してあるか。
館長	入口にイーゼルでポスター掲示をしている。ホームページにも明記してある。
委員	職員から見て、館内の状況はどうか。密になっているか。

館長	利用者数はコロナ以前に戻ってないので、密という状況ではない。資料を選んで貸出後、すぐに帰る利用者が多い。しかし、机を使って、資料を見たいという利用者には60分は短いのではないかと感じている。
委員	滞在時間は利用者自身の判断によるところが大きいので、滞在時間を60分以上としても問題はないのではないかな。
委員	職員の作業量はどのように感じているか。滞在人数や時間を増やすことによって、職員の感染リスクが高まる。このことについて職員間の不安が強まるということはあるのか。
事務局	コロナウイルス感染症が流行する前に比べると、図書館を利用する人が少ないので、感染リスクをそれほど感じていない。職員は、利用者の滞在による感染リスクというより、対面によるリスクを感じているのではないかな。
委員	職員が不安を感じながら仕事をされること、消毒の手間が減ることと、どちらにメリットがあるのだろうか。
館長	県内の図書館から感染者がでたという事例は、今のところ聞いていない。返却本を拭いているが利用者数が少ないため、今のところ対応できている。
事務局	消毒手順について説明。
委員	11時に図書館を訪れたが、消毒の時間だった。午前中で一番利用しやすい時間帯だと思う。白井市は感染者数が比較的少ないので消毒の時間や回数の見直しをしてもよいのではないかな。
委員	感染者数が増加している状況で、緩めるのはどうなのか。現在の運営方法は決して厳しい規制ではないと感じている。感染リスクと消毒の手間について、正解の判断がつかない。
委員	60分にしても80分にしても、ずっと滞在したい利用者は一定数いると思う。図書館としては、どのようにしたいのか。職員の作業量が軽減されるのであれば、わたしも滞在時間を長くしてもよいと思う。
委員	私は、現在のままで良いと思う。厳密に人数制限や滞在時間を測っ

	ていなくても「基本は60分ですよ」とした方が、緊張感があって良いのではないか。
委員	日本図書館協会のガイドラインには、滞在時間や消毒について、明記されてはいない。滞在時間80分で消毒2回もしくは1回でも良いのではないか。その他に手洗いとアルコール消毒を各自やるようにと、アピールしたほうが良いのではないか。
会長	消毒も利用者数との兼ね合いだと思うので、委員の意見を勘案しながら図書館側で検討して欲しい。
館長	掲示の表現について。おはなし会の再開など秋以降の行事についてのご意見をいただきたい。
会長	おはなし会の再開については、感染状況を踏まえての対応になるのではないかと思う。
委員	館内掲示物の表現について、優しい表現でお願いしたい。また、既に色々なイベントが中止になっている。不特定多数の人が集まるので、今年度内中止でよいのではないか。 臨時休館にならない状況を継続していただきたい。臨時休館になった場合でも貸出しは、できるだけ続けて欲しい。報告事項にもあったように、貸出数や予約リクエスト数は伸びている。図書館や本が心の拠り所だった、という人は多いはずだ。安価な消毒用品の購入はよいが、除菌ボックスは、利用する人が手洗いをすれば不要だと思う。
委員	「利用できません。」はできない。「感覚をあけてお座りください。」はできるということ。やわらかい表現にするのとは異なる。「できない」ではなく、「できる」という表現にして欲しい。
委員	掲示の表現については、意図が伝わればあまり気にならなかった。イベントについては、年度内中止はしかたない。本が生きがいだという人がいるのはよくわかるので、貸出しは止めずに続けてほしい。私たちは視覚障がい者の方に携わっているが、白井には子ども向け・大人向けのおはなしのグループがあるので、みんなが協力して録音した、「声のライブラリー」のようなものを作り、図書館でPRすれば、「音訳資料を利用する人がいない」ということにはならないのではないか。

委員	掲示について「利用できない」という表現が厳しいとは思わないが、お願いベース「ご迷惑をおかけします」のような表現がよいのではないか。
委員	表現は、今後の状況に応じて臨機応変に対応してよいのではないか。厳しい表現もお願いベースもよいのではないか。
委員	利用者同士の間隔を空けることが大切である。銀行などはぬいぐるみを置いて、物理的に間隔をあけなければいけない状況を作っている。ポスター掲示だけでなく、そのような方法もあるのではないか。
委員	電子図書館の導入は検討されているのか。非接触対応で来館せずに利用できるのか、コロナの時代によいのではないか。
館長	これからの時代は、紙の資料と電子資料が半々になっていくのではないかと考えている。「大活字」という形態の資料が出版された時に白井では早くから購入できたので、タイトル数も多く高齢化に対応できた。利用数は年々増えている。 電子図書館をコロナ対策の交付金を活用して導入したいと考えてはいるが、収集方針や計画にないものなので、資料を作成し委員の皆さんにご意見を伺いながら、図書館として必要なものとして要望をあげていきたい。
館長	協議事項(2)迷惑行為について
委員	頻度はどれくらいあるのか。
館長	週3回 一日3回というのがある。
委員	軽微な犯罪になるのか。
委員	迷惑防止条例などで対応できるか。
委員	図書館内にカメラの設置はできるのか。
館長	手順を踏めばできるのではないか。
センター長	トイレにはカメラを設置できない。
委員	「こういう事例を見かけたらお知らせください」というようなポス

課長	ターは効果があるのではないか。 その他、文化センター全体のあり方の検討について。 令和２年３月の議会で、令和２年度の市の一般会計予算に関して、「白井市文化センターのあり方について速やかに検討を開始し、文化会館大ホールの天井を含めた大規模改修工事計画の策定をはかること」との附帯決議が市議会から提出された。この附帯決議を踏まえ、市では文化会館大ホールの天井も含めた「文化センターのあり方」について検討を開始することとなった。現在、検討の進め方について準備している。詳細については、検討方法が固まり次第、ご報告する。検討にあたっては図書館協議会の皆様にもご意見をいただきたいと考えている。
館長	Wi-Fi 機器の設置は終了し、本日テストも行った。運用開始は早ければ秋頃、感染者数が増えるようなら延期することになる。
委員	新しく導入された自動貸出機を使用した。とても使いやすい。委員の皆様にもおすすめしたい。
会長	皆さんの意見を伺えて、よい会になった。また、しばらくお会いできないが、図書館のために協力していきたい。
事務局	次回は２月２５日（木）を予定している。今後のコロナウイルス感染者数の増加などにより、書面にてご意見を伺うという形式なるかもしれない。よろしくお願いします。予定時間より長い会議になってしまった。ご協力ありがとうございました。